



## 概要

この章は、次の項で構成されています。

- [連動の説明 \(P.1-1\)](#)
- [通話情報 \(P.1-1\)](#)
- [連動の機能 \(P.1-2\)](#)
- [複数の電話システムとの連動 \(P.1-4\)](#)

## 連動の説明

Cisco Unified Communications Manager (CM) (旧名称 Cisco Unified CallManager) SIP トランク連動では、LAN または WAN を介して接続が確立されます。Public Switched Telephone Network (PSTN; 公衆電話交換網) への接続は、ゲートウェイによって提供されます。

SIP トランクを介した Cisco Unity Connection との連動がサポートされている Cisco Unified CM のバージョンのリストについては、『*SIP トランク互換性マトリクス : Cisco Unity Connection/Cisco Unified CM/Cisco Unified CM Express*』を参照してください。

このマニュアルが適用されるのは、Cisco Unity Connection が Cisco Unified CM とは別のサーバにインストールされている場合のみです。Cisco Unity Connection が Cisco Unified CM と同じサーバに Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) としてインストールされた構成には、このマニュアルは適用されません。

## 通話情報

電話システムでは、転送呼に関する次の情報が送信されます。

- 着信側の内線番号
- 発信側の内線番号 (内線通話の場合) または発信側の電話番号 (外線通話においてシステムが発信者 ID を使用する場合)
- 転送の理由 (内線が通話中である、応答しない、またはすべての着信を転送するように設定されている)

Cisco Unity Connection は、この情報を使用して通話に適切に応答します。たとえば、Cisco Unity Connection に転送された通話への応答には、ユーザのパーソナル グリーティングが使用されます。電話システムがこの情報を使用しないで着信を転送した場合、Cisco Unity Connection は、オープニング グリーティングを使用して応答します。

## 連動の機能

Cisco Unity Connection との Cisco Unified CM SIP トランク連動には、次の機能が用意されています。

- パーソナル グリーティングへの自動転送
- 通話中グリーティングへの自動転送
- 発信者 ID
- 容易なメッセージ アクセス (ユーザは ID を入力しなくてもメッセージを取得できます。Cisco Unity Connection は、通話発信元の内線番号に基づいてユーザを識別します。パスワードが必要になる場合があります)
- 識別されているユーザのメッセージ (Cisco Unity Connection は、転送された内線通話中にメッセージを残したユーザを、通話発信元の内線番号に基づいて自動的に識別します。)
- Message Waiting Indicator (MWI; メッセージ受信インジケータ)

この連動の機能は、次に説明する問題の影響を受ける場合があります。

### Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST) ルータの使用

ネットワークに Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST) ルータが含まれている状態で、Cisco Unified SRST ルータが Cisco Unified CM から通話処理機能を引き継いだ場合 (WAN リンクのダウンなどの理由で)、支社の電話機は動作を続行できます。ただし、この場合は、連動機能に次の制約が加えられます。

- **通話中グリーティングへの自動転送** : Cisco Unified SRST ルータが PSTN に対して FXO/FXS 接続を使用している状態で、支社から Cisco Unity Connection に着信が転送された場合、通話中グリーティングを再生することはできません。
- **内線グリーティングへの自動転送** : Cisco Unified SRST ルータが PSTN に対して FXO/FXS 接続を使用している状態で、支社から Cisco Unity Connection に着信が転送された場合、内線グリーティングを再生することはできません。PSTN は FXO 回線の発信番号を提供するため、発信者はユーザとして識別されません。
- **着信転送** : PSTN に到達するにはアクセス コードが必要であるため、Cisco Unity Connection から支社への着信転送は失敗します。
- **識別されているユーザのメッセージ** : Cisco Unified SRST ルータが PSTN に対して FXO/FXS を使用している状態で、支社のユーザがメッセージを残すか、または着信を転送した場合、ユーザは識別されません。発信者は、身元不明発信者と表示されます。
- **メッセージ受信インジケータ** : MWI は支社の電話機では更新されません。そのため、新規メッセージが到着した場合や、すべてのメッセージを聞いた場合、MWI はその状況を正しく反映しません。WAN リンクが再確立された場合は、MWI を再同期化することをお勧めします。
- **着信サービス** : Cisco Unified SRST ルータが PSTN に対して FXO/FXS 接続を使用している状態で、支社から Cisco Unity Connection に着信が到達した場合 (一般の着信または転送呼)、着信サービスは失敗します。

Cisco Unified SRST ルータが PRI/BRI 接続を使用している場合、支社から Cisco Unity Connection への通話の発信者 ID は、PSTN によって提供される完全な番号 (局番および内線番号) となる場合があります。このケースに該当する場合は、代行内線番号を使用して発信者 ID を認識するように Cisco Unity Connection を設定できます。

SRST を使用する場合は、Redirected Dialed Number Information Service (RDNIS) がサポートされている必要があります。

Cisco Unified SRST ルータの設定方法については、該当する『*Cisco Unified SRST System Administrator Guide*』の「Integrating Voice Mail with Cisco Unified SRST」の章を参照してください。このドキュメントは、

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2169/products\\_installation\\_and\\_configuration\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps2169/products_installation_and_configuration_guides_list.html) から入手可能です。

### AAR によって転送されるボイスメール通話に与える RDNIS の送信不能の影響

Automated Alternate Routing (AAR; 自動代替ルーティング) を使用する場合は、RDNIS がサポートされている必要があります。

AAR では、WAN が加入過多の状態になった場合に、PSTN を介して通話を転送できます。ただし、PSTN を介して再転送される場合は、RDNIS が影響を受けることがあります。Cisco Unity Connection がそのメッセージクライアントに対してリモートである場合は、RDNIS 情報に誤りが生じることにより、AAR が PSTN を介して再転送するボイスメール通話が影響を受けることがあります。RDNIS 情報が誤っている場合、通話はダイヤル先のユーザのボイスメールボックスに到達せず、代わりに自動受付のプロンプトを受信します。その場合、発信者は、到達先の内線番号を再入力するように要求されることがあります。この動作が問題となるのは、主に、電話通信事業者がネットワークを介した RDNIS を保証できない場合です。通信事業者は、さまざまな理由により、RDNIS の正常な送信を保証できないことがあります。通信事業者に問い合せて、回線のエンドツーエンドで RDNIS の送信を保証しているかどうかを確認してください。加入過多の状態になった WAN に対して AAR を使用する代わりに、単に、加入過多の状況で発信者にリオーダー トーンが再生されることもあります。

## 複数の電話システムとの連動

Cisco Unity Connection は、一度に複数の電話システムと連動できます。サポートされる組み合わせの最大数と、Cisco Unity Connection を複数の電話システムと連動させる手順については、『*Multiple Phone System Integration Guide for Cisco Unity Connection 2.0*』

([http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products\\_installation\\_and\\_configuration\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html)) を参照してください。